安全で美味しい 小学校給食推進へ

田中とも子議員
042-427-1183

安易な民間委託やめるべき

高橋市長は今年2月、小学校給食調理の民間委託化を発表しました。来年度の第五小学校を皮切りに全校の委託化を進めるかまえです。保護者からは、「今まで美味しくて安全な給食が食べられているのになぜ？」など疑問と不安の声が寄せられています。

田中とも子議員は、①今なぜ民間委託なのか。②少なくとも市民参加の検討委員会をつくり慎重に検討することが必要ではないか。③実際に委託現場で働いていた栄養士さんから話を聞いたが、委託されると労働法の制約で栄養士が調理員に直接指示できなくなり、きめ細かな調理指導、衛生管理指導ができなくなる。安全で美味しい給食に支障が出るのではないか。④説明会は五小だけでなく全校で開くべき。⑤7月に保護者説明会を行い、来年4月から委託というあまりに拙速なやり方ではないか、とただしました。

企画財政部長は、①民間の専門性や柔軟性を取り入れるため。②個別の案件ごとに幅広い方々から意見を伺いながら進めていく。

教育部長は、③調理指導は業者の責任者や副責任者に行うと答弁しましたが、全校での説明会は開催しようとしませんでした。

田中議員は、事業者任せではアレルギー対策などの安全対策や、食育の推進、おいしい給食の維持向上に保障がないことを強調し、拙速な民間委託はやめるよう求めました。

田中議員はまた「狛江市実行プラン」についても質問しました。

給料の全額差し押さえは違法

鈴木えつお議員
3488-8839

生存権保障の立場に立った徴税行政を

鈴木えつお議員は、預金口座に振り込まれた給料全額を市に差し押さえられたとの相談を受け質問しました。

国税徴収法では憲法に定められている国民の生存権を保障するため、給料の全額差し押さえを禁止しています（一部差し押さえは可能）。また年金や児童手当などは差し押さえを禁止しています（一部も禁止）。

鈴木議員は「税金の徴収は大事な仕事だが、預金残高が少なく、振り込まれたものが給料と識別できる場合には、全額差し押さえは違法ではないか」とただしました。しかし市民生活部長は「給料等が預金口座に振り込まれた場合、一般財産になるために差し押さえは禁止されていない」と答弁しました。

鈴木議員は、法学博士の北野弘久・日本大学名誉教授が「振り込まれたものが給料であると識別できるのに差し押さえするのは違法」と主張していることも示し、徴税行政の行きすぎをただすよう求めました。

空き家対策強化を

鈴木議員は、火災の危険等相談が寄せられている空き家対策について、これまでの対応をただし、「住民の安全のため、住環境を守るため、所沢市のような条例の制定を検討してほしいと要望しました。

また都水道局資材置場に市民運動場を整備することや水道道路の歩道を広げることを、市長が「4年でやります」の公約に沿って誠実に努力するよう求めました。

若者を使い捨てにする ブラック企業対策強化を

岡村しん議員
6751-2757

市「相談あれば関係機関に情報提供する」

岡村しん議員は、「若者が住み続けられる狛江へ」と「防災行政について」の2問を質問しました。

若者が住み続ける狛江へでは、駅前での聞き取りや、市内事業所で働いていた方からの聞き取りのなかで「24時間連続勤務が続き心も体も壊れてしまった」などの声が寄せられていることなど示し、市として厚生労働省や労基署への連絡を行うなどブラック企業対策を強化するよう要望しました。

市民生活部長は、情報提供について、「若者の使い捨ての疑いがあるなどのご相談があった場合は、相談者に対して、厚生労働省が設置した無料相談窓口等をご案内し、問題解決に役立てて頂くとともに、関係機関に対して必要な情報提供等をしてまいります」と答弁しました。

家具転倒防止器具設置に助成を

防災行政については、竜巻やゲリラ豪雨時の学校の対策やこの間の震災対策について、情報提供、避難訓練、ガス管・窓ガラスの耐震化などについて質問しました。

岡村議員の「高齢者・障がい者や経済的に困難な方に対し、家具転倒防止器具設置への助成をして欲しい」との質問に、総務部長は「身体の不自由な方など，自力での購入や取付けが困難な方のために，補助の必要性等について検討してまいります」と前向きな答弁がありました。